

事務事業 No./名称	■サービス部門 文財-06 永福寺跡環境整備事業 □支援部門						
主管課	文化財課	関連課	世界遺産登録推進担当				
分野名	歴史環境						
目標 (目標値)	国指定史跡永福寺跡を保存・整備し、幅広く公開・活用を図る。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	53,812	21,370	16,235			
	(国・県)	26,902	14,424	7,141			
	(負担金等)	18,500					
	(一般財源)	8,410	6,946	9,094			
	人員配置数	1.5	1.5	1.5			
	人件費(千円)	13,143	14,535	14,438			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	66,955	35,905	30,673			
	市民1人当りの経費(円)	378	203	174			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
整備の進捗状況(%)	○	目標値	35	40	45	60	100
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	19.5	20	30		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
永福寺跡環境整備事業	53,812千円	①効率性 △ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	国指定史跡永福寺跡保存整備基本計画に基づき史跡を国・県の補助金を活用して、保存・整備し、公開活用を図る。			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	H22年度に文化庁との協議により、整備方針の変更を余儀なくされ、速やかな工程変更が必要となった。
課題解決のための取組	新たな方針により、変更した工程に沿って事業を進める。
未解決の課題	三堂基壇苑池の復元整備に向け、着実に事業を進めなければならない。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○			課長等名
		③有効性 ○		史跡永福寺跡整備委員会の助言等に基づき、国・県及び関係者と調整を行い、着実に事業を推進する。	↓
		④公平性 ○			A
					課長(代理) 吉田 浩

